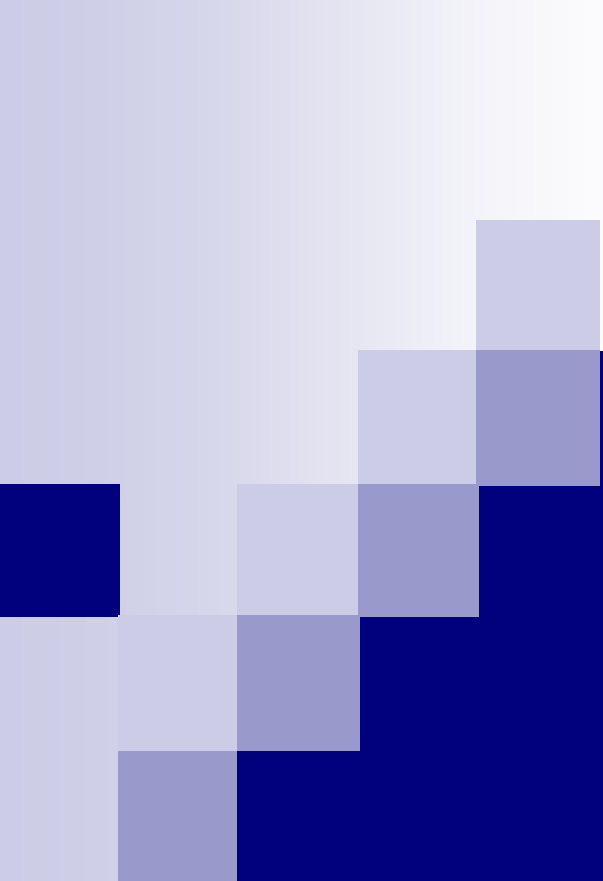




情報処理演習A8 (第12回)

【教員】

藤野 毅

ローム記念館4F 内線:8428

講義用メールアドレス:

rejohea8@se.ritsume.ac.jp

【TA】

松本(杉本研)・川畑(杉本研)

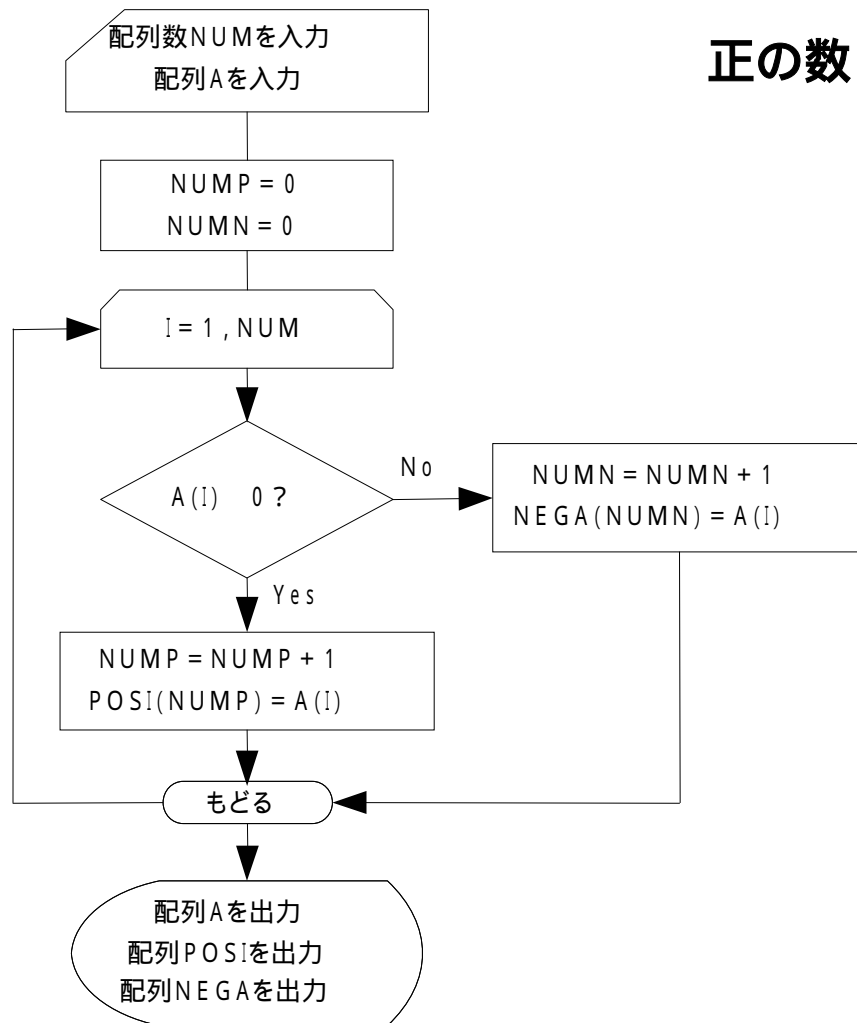
大岩(杉本研)・音羽(藤田研)

本日のスケジュール

- 1次元配列プログラムの復習
- 2次元配列プログラム
- サブルーチンの説明

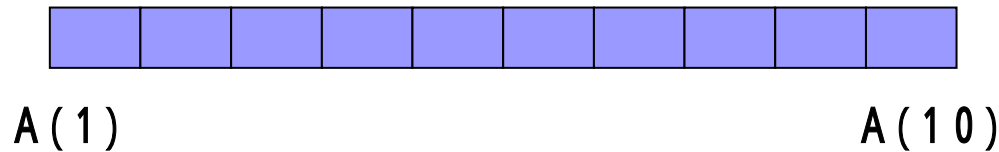
1次元配列で正負に分類

正の数, 負の数を格納する配列を用意する.

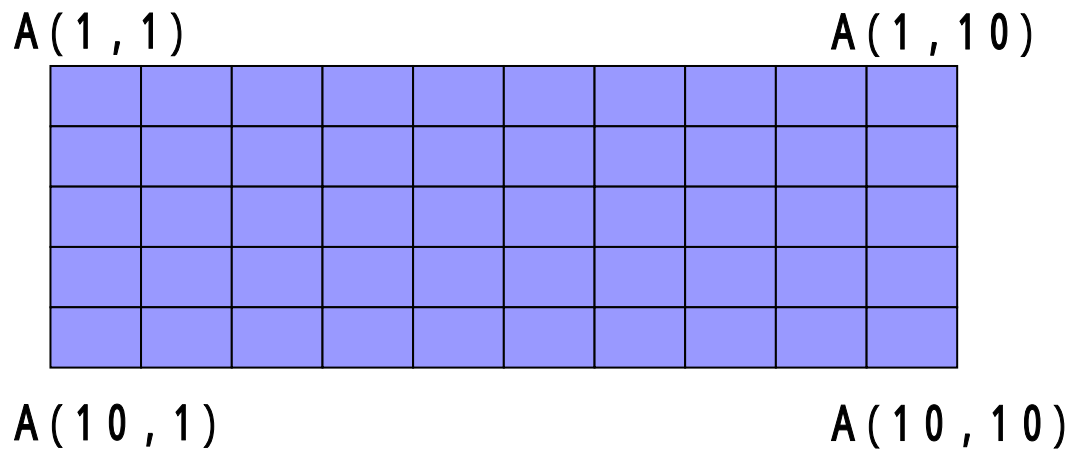


配列の宣言

■ 1次元配列宣言: `REAL A(10)`



■ 2次元配列宣言: `REAL A(10, 10)`



配列の入出力 (応用)

■ 1次元配列の出力の特殊例

```

      INTEGER A ( 1 0 )
      :
DO 10 J = 0 , 1
WRITE ( * , * ) ( A ( I ) , I = 1 + J , 5 + J )
10 CONTINUE
```

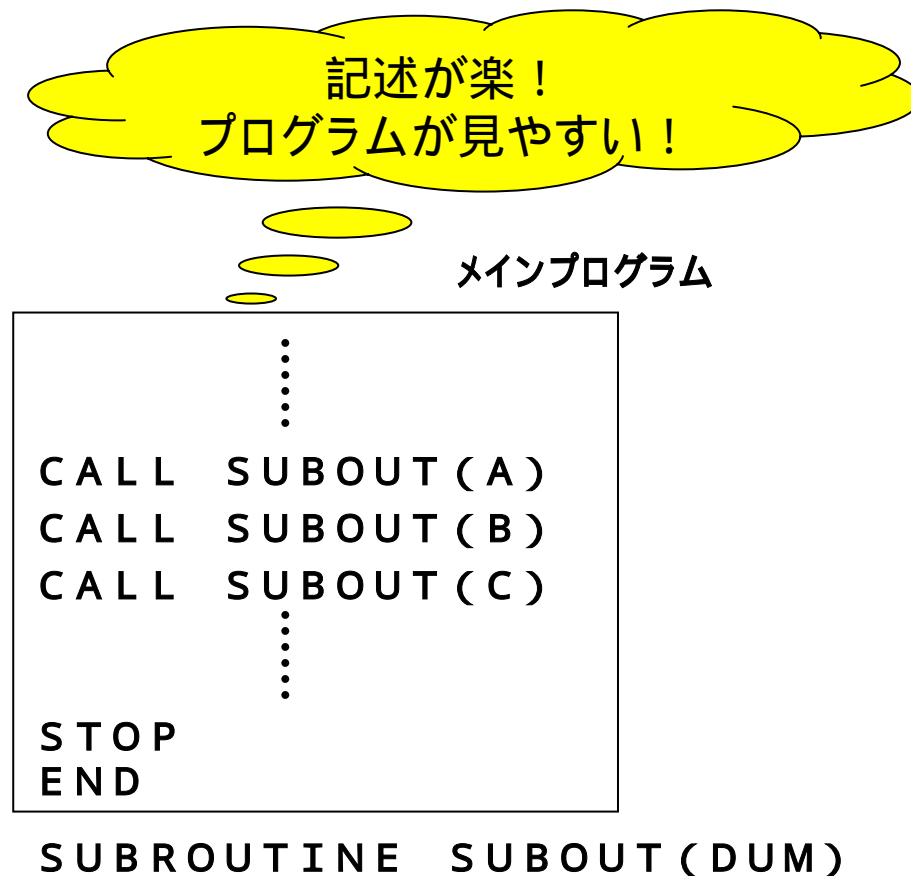
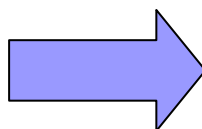
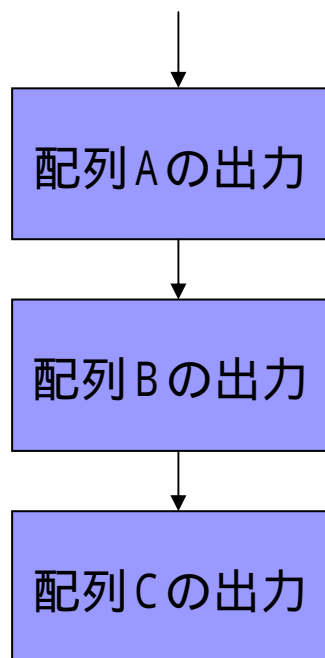
■ 2次元配列の入力の特殊例

```

      INTEGER A ( 2 , 3 )
      :
DO 10 I = 1 , 2
READ ( * , * ) ( A ( I , J ) , J = 1 , 3 )
10 CONTINUE
```

サブルーチン

■ サブルーチンの有効性



同じような記述が何回も！
行番号が重なる！

サブルーチンの書式

■ サブルーチンの呼び出し

CALL サブルーチン名 (引数 1 , . . . , 引数 N)

名前は一致しなくてもよい！

■ サブルーチンの書式

SUBROUTINE サブルーチン名 (引数 1 , . . . , 引数 N)

⋮
RETURN
END

} 忘れないように！